

令和8年度 浄水中学校 特色ある学校づくり推進事業 計画書

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	「まごころで地域とつながろう」	分野	b	地域連携
	サブテーマ 地域と学校との情報発信基地を作ろう	その他		
学校づくりの視点（ねらい）	・地域共働型の学校として、本校とともに、浄水地区の2小学校や豊田特別支援学校、交流館、各校地域学校共働本部が連携し情報を発信することで、それぞれの取組を理解したり、協力し合ったりして、地域ぐるみで子どもを育てる教育が展開できると考える。 ・生徒の学びの発信や表現活動の機会とする。 ・令和7年度に浄水中学校、浄水交流館が開校・開館10年目を迎え、通年でさまざまな記念事業を実施した。令和8年度は令和7年度の取組をもとに、これからの浄水地区の発展につなげられるよう、継続的に中学校と交流館に関する情報を発信することで、地域を巻き込んで盛り上げる手段とする。 ・地域の方に学校の取組を発信することで、取組の意図や目的を理解していただき、協力を得られやすい関係を築く。また、得られた協力を生徒の行動で、地域へ返していくことを目指す。 ・地域共働型の学校づくりを進めることで、身近な地域を愛する生徒の育成を目指す。 ・地域へ関心をもち、自ら課題や目的を見つけて行動できる生徒の育成を図る。			
活動内容・計画	【デジタルサイネージの活用】 ○情報の発信 ・学校行事や授業、生徒の活動の様子、お知らせ等、学校からの情報を積極的に発信する。 ○情報の共有 ・交流館からのお知らせや地域学校共働本部の取組の紹介など、地域からの情報を発信することで、生徒たちへ情報提供する。 ○方法 ・ポスターやチラシ、写真などの静止画に加え、動画や音声を活用し、具体的に表現する。 ・定期的に情報を更新し、新鮮な情報を提供する。			
補助員配置				
実績・期待される効果	・10周年記念事業やまごころフェスタなどの学校行事、PTCAの取組、交流館の催し物、地域学校共働本部のお知らせ等の情報を常に発信できるため、学校として多くの地域の方から協力を得たり、生徒が地域へ積極的に関わったりする姿が生まれる。 ・地域とのつながりを重んじ、地域の一員としてよりよい地域を築こうとする態度が身につく。 ・生徒の学びの発信や表現活動の機会としてとらえ、情報の受け手側の立場を考えるなど、相手意識が向上し、表現の工夫がみられる。			
検証方法	・保護者アンケート 特色ある学校づくり事業 「とてもよい」市平均より5ポイント以上アップ ・保護者アンケート 「保護者・地域との連携を図り、開かれた学校づくりを進めている」市平均より5ポイント以上アップ			